

平成28年度群馬県キャリア教育推進事業 実践説明

# 明和中学校におけるキャリア教育の実際

明和町立明和中学校

早川裕彬

基本的な考え方

# 明和中学校の基本的な考え方

例1・様々な職種がある地域 → 職場体験学習や職業調べの充実を図る

例2・生徒指導に困難がある学校 → 部活動や合唱祭の充実を図る

- ・ 職場体験学習
- ・ 職業調べ
- ・ 上級学校調べ
- ・ 修学旅行
- ・ 合唱祭
- ・ 体育祭
- ・ 保育実習
- ・ 小中交流事業
- ・ 部活動
- ・ 生徒会活動

特別活動を通じたキャリア教育

# 明和中学校の基本的な考え方

例1・行事の充実に困難 → 毎日の授業の充実を図る

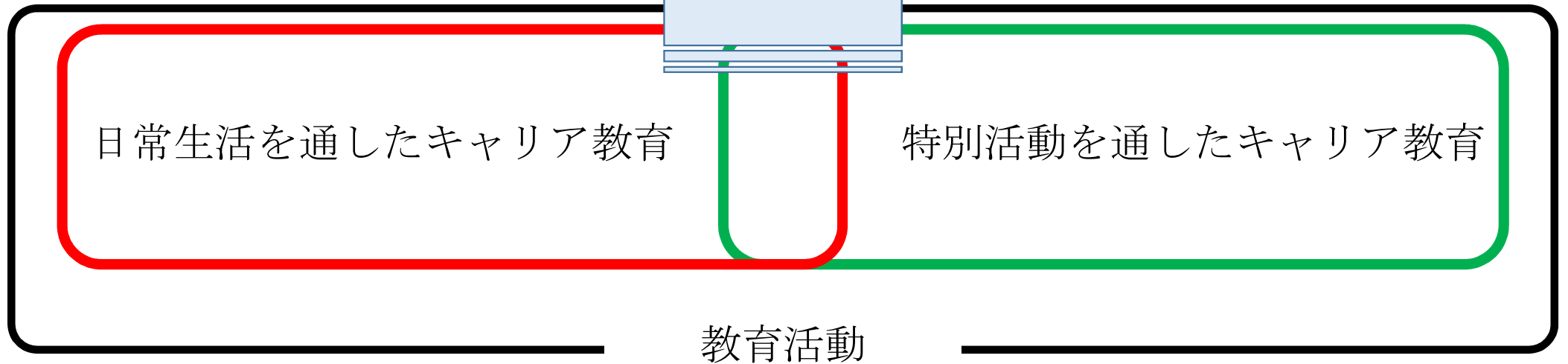
例2・清掃活動に特色がある → 特色を生かした取り組みを図る

日常生活を通じたキャリア教育

- ・各教科
- ・道徳
- ・学活
- ・総合
- ・朝の会
- ・帰りの会
- ・学級の係
- ・給食指導
- ・清掃活動

# 明和中学校の基本的な考え方

## キャリア教育の推進



# 明和中学校の基本的な考え方

## 明和中学校の実態

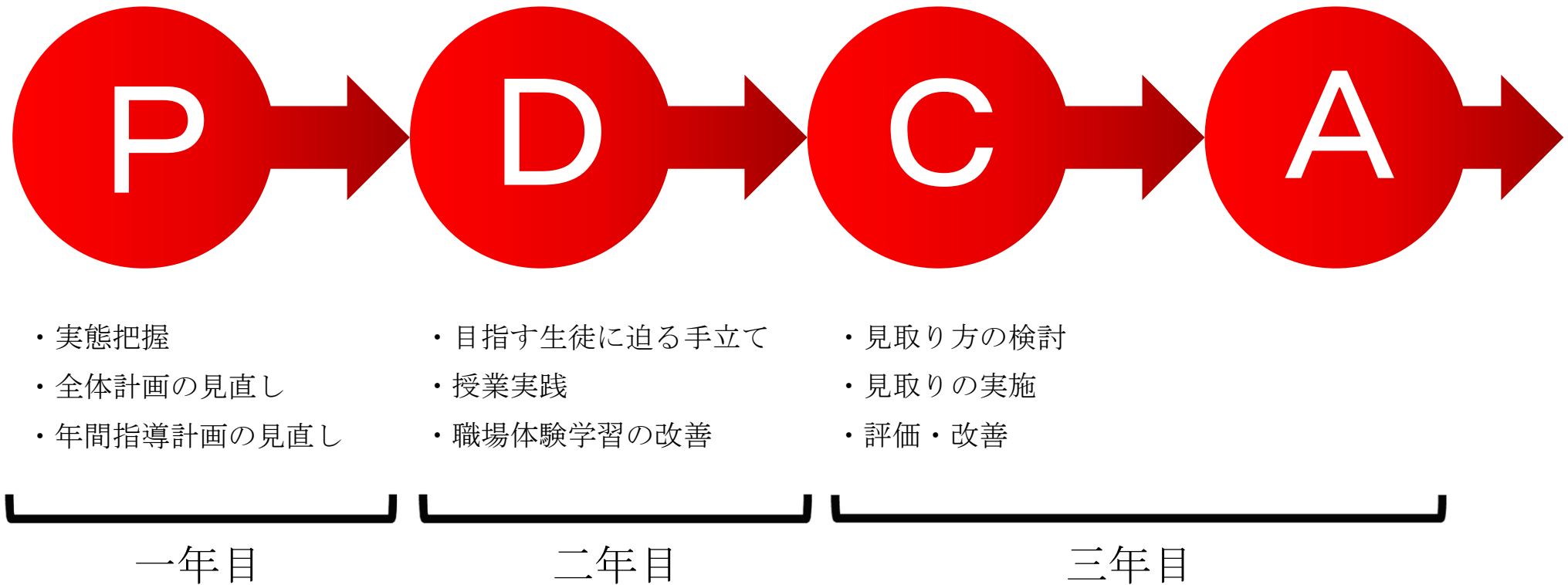
- ・授業に落ち着いて取り組むことができる。
- ・職場体験学習は町外の事業所に依頼している部分が多い。

学校や地域の実態に合った方法で取り組むことが重要

教育活動

# 三年間の取組

# 明和中学校の三年間の取組





PLAN (計画)  
[ 一年目 ]

# 1・実態の把握

# キャリア教育アンケートを活用した実態把握

キャリア教育アンケートの一例

◇ これはテストではありません。あなたの日常生活（授業中や放課後、家庭での生活など全般を含みます）の様子を振り返って、当てはまる番号に○を付けてください。  
4：いつもしている 3：時々している 2：あまりしていない 1：ほとんどしてしない

①	友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしていますか。	4	3	2	1
②	相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。	4	3	2	1
③	自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動しようとしていますか。	4	3	2	1
④	自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとしていますか。	4	3	2	1
⑤	気持ちが沈んでいる時や、あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしていますか。	4	3	2	1
⑥	不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしていますか。	4	3	2	1
⑦	分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集したり、だれかに質問をしたりしていますか。	4	3	2	1
⑧	何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えていますか。	4	3	2	1
⑨	何かをする時、見直しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしていますか。	4	3	2	1
⑩	学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。	4	3	2	1
⑪	自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えていますか。	4	3	2	1
⑫	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。	4	3	2	1

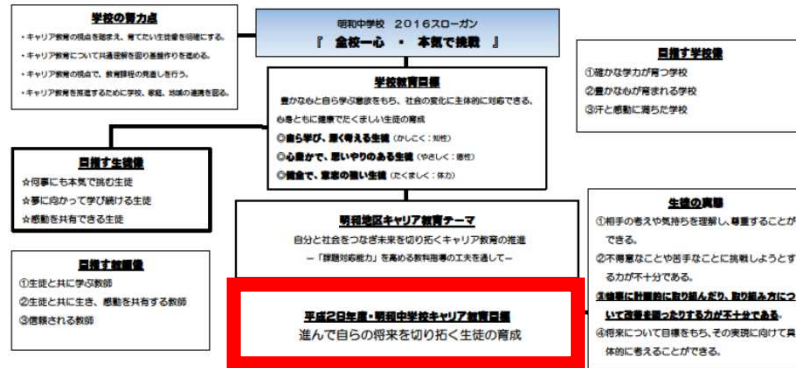
## 目指す生徒像の設定

## 「課題対応能力」に課題

※「量的把握」と「質的把握」の両面から課題を捉える

## 2・全体計画の見直し

平成28年度 明和町立明和中学校キャリア教育全体計画

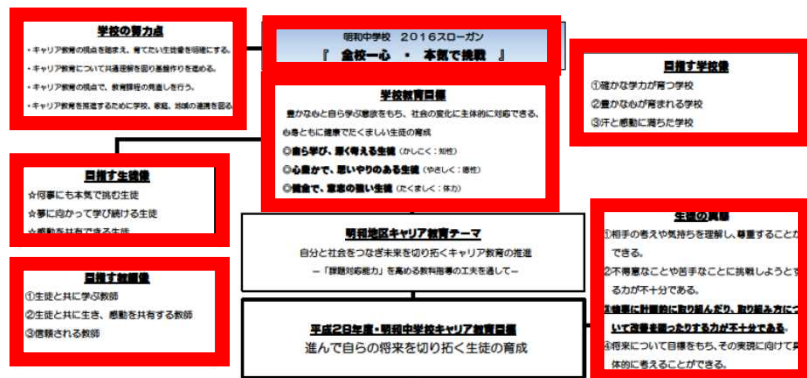


1. 把握した課題から目指す生徒像（目標）を設定

	第1学年 指導目標	第2学年 指導目標	第3学年 指導目標
自己理解の深化	人にまじり、自信をもって、よく考えて行動しよう ・自分の個性を理解し、自己と他者の違いに気付かせ、尊重しようとする態度を養う。 ・新しい環境や人間関係に適応する。 ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。	手を取り合い、夢に向かって行動しよう ・自らの活動が相手や他者に及ぼす影響を理解する。 ・体験活動などを通して、社会生活への発展を促し、人間関係を築く力を身に付ける。	調べ、考え、自分らしい生き方を実現しよう ・自分のよさや個性だけでなく、他者のよさや個性、感情を理解し、尊重する態度を養う。 ・他者に働きかけ、積極的に人間関係を築く力を高める。
社会理解の深化	・中学生としての自覚や社会の一員としての自覚をもたせる。 ・よりよい学習活動のための自分の役割や関わり方について理解する。	・社会における様々な役割を理解する。 ・社会の一員としての自覚をもち、自分の生活方針や役割について考えられる力を身に付ける。	・将来の目標をもち、成長のための主体的に行動する力を身に付ける。 ・社会と自分の関わりから自分らしい生活方について考えられる力を身に付ける。
課題解決力の育成	・情報を適切に理解・選択・処理し、計画的に課題に取り組みこの大切さを理解する。 ・学習中課題の過程を振り返り、次の課題に生かそうとする態度を身に付ける。	・課題解決に向けて、必要となる情報を収集する方法や情報を適切に処理する方法を身に付ける。 ・自己の課題を発見し、課題の解決や改善に向けて計画的に課題に取り組み態度を養う。	・情報・知識を適切に処理し、計画的に取り組み、自己の課題を解決する力を身に付ける。 ・産業や経済の変化に伴う職業や仕事の変化について理解し、職業観・勤労観を形成する。
キャリア教育の推進	・身近な職業について知り、働くことの意義を伝え、進路を育める基礎をつくる。 ・将来の夢や職業のイメージ、相応しい職業への関心を高める。 ・学習の必要性や大切さを理解する。	・将来の夢を大切にしながら、自らの課題を見いだしていくことの大切さを理解する。 ・様々な職業の社会的役割や職業を理解し、自己の目標と結び付けて考えられる態度を養う。	・進路の具体的な情報・知識を活用しながら、責任をもって自らの進路を選択する。 ・自己の個性や興味・関心に基づいて、よりよい進路選択をしようとする態度を養う。

教科指導におけるキャリア教育の指導内容						
各教科	道徳	学習活動	特別活動	生徒会活動	総合的な学習の時間	その他の教育活動
・学ぶことの意義の理解と主体的な学習態度の育成 ・基礎的・基本的な内容の理解 ・読解力、情報力、表現力の育成 ・日常生活や職業、将来の社会との関わり	・人との関わりに大切にし、互いに認め合い、支かしようとする態度を育む ・読解力、情報力、表現力の育成 ・社会の規範や職業の理解 ・公共の福祉と社会規範に求められる態度の育成	・学習活動の理解と主体的な学習態度の育成 ・基礎的・基本的な内容の理解 ・読解力、情報力、表現力の育成 ・日常生活や職業、将来の社会との関わり	・健全な人間関係の確立、健全な生活の向上 ・経験づくり、活動体験 ・学習活動や働くことの意義の理解 ・主体的な活動の推進と授業計画	・よりよい学校生活の推進 ・異年齢の交流 ・ボランティア活動 ・計画、立案、運営 ・集団行動における健全な態度の育成	・自ら学び、考え、発表し、他者と解決する態度や能力 ・主体的、創造的な活動 ・協働的な活動 ・自分探求、社会探求、体験的学習、課題解決学習	・運動、読書活動 ・職業体験 ・職業見学会 ・ボランティア活動 ・体験活動
キャリア教育推進のための基盤						
・学年、学級経営の充実	・生徒指導の機能を生かした基本的な生活習慣の定着	・キャリア教育の共通理解	・PTA及び地域との連携	・地域教育力を生かした体験活動の充実	・ことも書、東西小学校との連携	

平成28年度 明和町立明和中学校キャリア教育全体計画



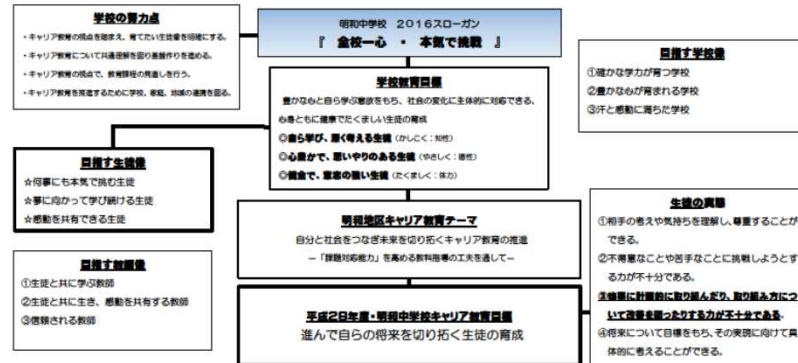
1. 把握した課題から目指す生徒像（目標）を設定

2. 既存の学校教育目標との関係を整理

	第1学年 指導目標	第2学年 指導目標	第3学年 指導目標
人間関係の構築能力	人に優しく、自信をもって、よく考えて行動しよう ・自分の個性を理解させ、自己と他者の違いに気付かせ、尊重しようとする態度を養う。 ・新しい環境や人間関係に適応する。 ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。	手を取り合い、夢に向かって行動しよう ・自分の活動が相手や他者に及ぼす影響を理解する。 ・体験活動などを通して、社会生活への発展を促め、人間関係を築く力を身に付ける。	調べ、考え、自分らしい生き方を表現しよう ・自分のよさや個性だけでなく、他者のよさや個性、感情を理解し、尊重する態度を養う。 ・他者に働きかけ、積極的に人間関係を築く力を高める。
進路選択能力	・中学生としての自覚や社会の一員としての自覚をもたせる。 ・よりよい進路活動のための自分の役割や関わり方について理解する。	・社会における様々な役割を理解する。 ・社会の一員としての自覚をもたせ、自分の生活方針や関心について考えられる力を身に付ける。	・将来の目標をもち、成長のための主体的に行動する力を身に付ける。 ・社会と自分の関わりから自分らしい生活方について考えられる力を身に付ける。
学習能力	・情報を適切に理解・選択・処理し、計画的に課題に取り組みこの大切さを理解する。 ・学習中課題の過程を振り返り、次の課題に生かそうとする態度を身に付ける。	・進路選択に向けて、必要となる情報を収集する方法や情報を適切に処理する方法を身に付ける。 ・自己の課題を発見し、課題の解決や改善に向けて計画的に課題に取り組み態度を養う。	・情報を適切に処理し、計画的に取り組み、自己の課題を解決する力を身に付ける。 ・産業や経済の変化に伴う職業や仕事の変化について理解し、職業観・勤労観を形成する。
キャリア教育	・身近な職業について知り、働くことの意義を考え、進路を考え基礎をつくる。 ・将来の夢や職業の思いを描き、相応しい職業への関心を高める。 ・学習の必要性や大切さを理解する。	・将来の夢を大切にしながら、自らの課題を見いだし、この大切さを理解する。 ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の目標と結び付けて考えられる態度を養う。	・進路の具体的な情報・知識を活用しながら、責任をもって自らの進路を選択する。 ・自己の個性や興味・関心に基づいて、よりよい進路選択をしようとする態度を養う。

教科等におけるキャリア教育の指導内容						
各教科	道徳	特別活動			総合的な学習の時間	その他の教育活動
・学ぶことの意義の理解と主体的な学習態度の育成 ・基礎的・基本的な内容の理解 ・読解力、情報力、表現力の育成 ・日常生活や職業、将来の社会との関わり	・人の関わりに大切にし、互いに認め合い、支かあし合う関係を築くこととする情や態度の育成 ・自分の考えや感情の表現 ・公共の福祉と社会発展に必要となる態度の育成	・学級活動 ・課外活動の育成 ・生活の向上 ・経験づくり、活動計画	・学校行事 ・進路生活を支える役割の役割の理解 ・授業や生活活動の準備、実行の指導 ・集団行動における健全な態度の育成	・生徒会活動 ・よりよい学校生活の創造 ・異年齢間の交流 ・ボランティア活動 ・計画、立案、運営	・自ら学び、考え、発見し、問題解決する態度や能力 ・主体的、創造的な活動 ・協働的な活動 ・情報活用、社会体験、体験学習、課題解決学習	・運動会、体育祭 ・読書週間 ・出前授業 ・ボランティア活動 ・体験活動
キャリア教育推進のための基盤						
・学年、学級経営の充実	・生徒指導の機能を生かした基本的な生活習慣の定着	・キャリア教育の共通理解	・PTA及び地域との連携	・地域教育力を生かした体験活動の充実	・ことも書、東西小学校との連携	

平成28年度 明和町立明和中学校キャリア教育全体計画



1. 把握した課題から目指す生徒像（目標）を設定

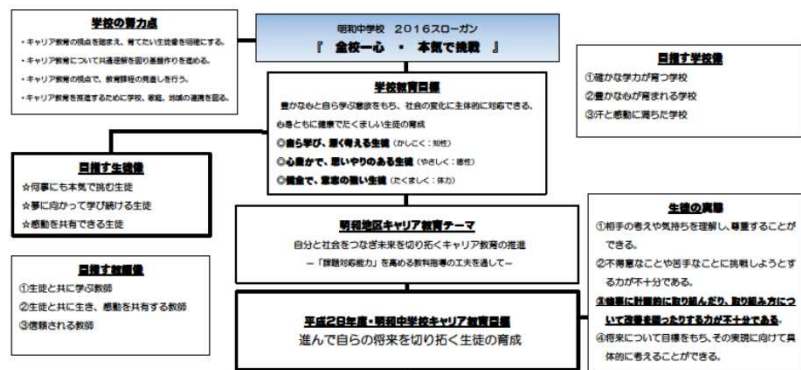
2. 既存の学校教育目標との関係を整理

3. 目指す生徒像（目標）を受けて、基礎的・汎用的能力の4領域に目標を細分化（課題対応能力に重点）

	第1学年 指導目標	第2学年 指導目標	第3学年 指導目標
<b>人間関係の構築能力</b>	人に優しく、自信をもって、よく考えて行動しよう ・自分の個性を理解させ、自己と他者の違いに気付かせ、尊重しようとする態度を養う。 ・新しい環境や人間関係に適応する。 ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。	手を取り合い、夢に向かって行動しよう ・自らの活動が相手や他者に及ぼす影響を理解する。 ・体験活動などを通して、社会生活への発展を促し、人間関係を築く力を身に付ける。	誇べ、考え、自分らしい生き方を表現しよう ・自分のよさや個性だけでなく、他者のよさや個性、感情を理解し、尊重する態度を養う。 ・他者に働きかけ、積極的に関係を築く力を高める。
<b>問題解決能力</b>	・中学生としての自覚や社会参加の一員としての自覚をもたせる。 ・よりよい学習活動のための自分の役割や関わり方について理解する。	・社会における様々な役割を理解する。 ・社会の一員としての自覚をもち、自分の生活方針や役割について考えられる力を身に付ける。	・将来の目標をもち、成長のために主体的に行動する力を身に付ける。 ・社会と自己の関わりから自分らしい生活方について考える力を身に付ける。
<b>情報活用能力</b>	・情報を適切に理解・選択・処理し、計画的に課題に取り組みこの大切さを理解する。 ・学習中選択の過程を振り返り、次の機会に生かそうとする態度を身に付ける。	・課題解決に向けて、必要となる情報を収集する方法や情報を適切に処理する方法を身に付ける。 ・自己の課題を発見し、課題の解決や改善に向けて計画的に課題に取り組み態度を養う。	・情報を適切に処理し、計画的に取り組み、自己の課題を解決する力を身に付ける。 ・産業や経済の変化に伴う職業や仕事の変化について理解し、職業観・勤労観を形成する。
<b>キャリア教育の基礎</b>	・身近な職業について知り、働くことの意義を考え、進路を考え基礎をつくる。 ・将来の夢や職業を思い描き、希望し学習への関心を高める。 ・学習の必要性や大切さを理解する。	・将来の夢を大切にしながら、自らの課題を見いだしていくことの大切さを理解する。 ・様々な職業の社会的役割や職業観を理解し、自己の目標と結び付けて考える態度を養う。	・進路の具体的な情報・知識を活用しながら、責任をもって自らの進路を選択する。 ・自己の個性や興味・関心に基づいて、よりよい進路選択をしようとする態度を養う。

教科等におけるキャリア教育の指導内容						
各教科	道徳	学習活動	特別活動	生徒会活動	総合的な学習の時間	その他の教育活動
・学ぶことの意義の理解と主体的学習態度の育成 ・基礎的・基本的な内容の理解 ・読解力、情報力、表現力の育成 ・日常生活や職業、将来の社会との関わり	・人との関わりに大切にし、互いに認め合い、支かし合う関係を築くこととする情や規範の育成 ・自分の考えや意思の伝達 ・公共の福祉と社会発展に必要の育成	・学習活動の意義の理解 ・主体的な学習態度の育成 ・探究活動の意義の理解 ・主体的な学習態度の育成	・職業生活を支える役割の理解 ・職業観の育成 ・職業生活における健全な職業観の育成	・よりよい学校生活の創造 ・異年齢間の交流 ・ボランティア活動 ・計画、立案、運営 ・集団行動における健全な職業観の育成	・自ら学び、考え、発表し、他者と交流する態度の育成 ・主体的、創造的な活動 ・探究的な活動 ・自分探求、社会探求、体験的学習、課題解決学習	・職業観、勤労観 ・職業観 ・職業探求活動 ・ボランティア活動 ・体験活動
キャリア教育推進のための基盤						
・学年、学級経営の充実	・生徒指導の機能を生かした基本的な生活習慣の定着	・キャリア教育の共通理解	・PTA及び地域との連携	・地域協力を生かした体験活動の充実	・ことも書、東西小学校との連携	

平成28年度 明和町立明和中学校キャリア教育全体計画



	第1学年 指導目標	第2学年 指導目標	第3学年 指導目標
基礎的・基本的能力	人に優しく、自信をもち、よく考えて行動しよう ・自分の個性を理解させ、自己と他者の違いに気付かせ、尊重しようとする態度を養う。 ・新しい環境や人間関係に適応する。 ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。	手を取り合い、夢に向かって行動しよう ・自らの活動が相手や他者に及ぼす影響を理解する。 ・体験活動などを通して、社会生活への発展を促し、人間関係を築く力を身に付ける。	調べ、考え、自分らしい生き方を実現しよう ・自分のよさや個性だけでなく、他者のよさや個性、感情を理解し、尊重する態度を養う。 ・他者に働きかけ、積極的に人間関係を築く力を高める。
問題解決能力	・中学生としての自覚や社会参加の一員としての自覚をもたせる。 ・よりよい学習活動のための自分の役割や関わり方について理解する。	・社会における様々な役割を理解する。 ・社会の一員としての自覚をもち、自分の生活方針や役割について考える力を身に付ける。	・将来の目標をもち、成長のために主体的に行動する力を身に付ける。 ・社会と自己の関わりから自分らしい生き方について考える力を身に付ける。
学習能力	・情報を適切に理解・選択・処理し、計画的に課題に取り組みこの大切さを理解する。 ・学習中課題の過程を振り返り、次の機会に生かそうとする態度を身に付ける。	・課題選択に向けて、必要となる情報を収集する方法や情報を適切に処理する方法を身に付ける。 ・自己の課題を優先し、課題の解決や改善に向けて計画的に課題に取り組む態度を養う。	・情報・知識を適切に処理し、計画的に取り組み、自己の課題を解決する力を身に付ける。 ・産業や経済の変化に伴う職業や仕事の変化について理解し、職業観・勤労観を形成する。
キャリア教育の力	・身近な職業について知り、働くことの意義を考え、進路を考える基礎をつくる。 ・将来の夢や職業を思い描き、相応しい職業への関心を高める。 ・学習の必要性や大切さを理解する。	・将来の夢を大切にしながら、自らの課題を見いだしていくことの大切さを理解する。 ・様々な職業の社会的役割や職業を理解し、自己の目標と結び付けて考える態度を養う。	・進路の具体的な情報・知識を活用しながら、責任をもって自らの進路を選択する。 ・自己の個性や興味・関心に基づいて、よりよい進路選択をしようとする態度を養う。

教科専らにおけるキャリア教育の指導内容					
各教科	道徳	学習活動	特別活動	総合的な学習の時間	その他の教育活動
・学ぶことの意義の理解と学習意欲の育成 ・基礎的・基本的内容の理解 ・読解力、情報力、読者の育成 ・授業方法や職業、将来の社会との関わり	・人との関わりで大切にし、互いに認め合い、生き生きと関係を築くようとする心構えの育成 ・経験づくり、感動体験 ・自分の得意や意欲の理解 ・公共の福祉と社会内閣に必要となる育成	・学習活動の理解と意欲の育成 ・学習活動の理解と意欲の育成 ・学習活動の理解と意欲の育成	・健全な生活を送る役割の理解 ・健全な生活を送る役割の理解 ・健全な生活を送る役割の理解	・よりよい学校生活の創造 ・ボランティア活動 ・ボランティア活動 ・ボランティア活動	・主体的な学習の時間 ・主体的な学習の時間 ・主体的な学習の時間
キャリア教育推進のための基盤					
・学年、学級経営の充実	・生徒指導等の機能を生かした基本的な生活習慣の定着	・キャリア教育の共通理解	・PTA及び地域との連携	・地域教育力を生かした体験活動の充実	・ことも、東西小学校との連携

1. 把握した課題から目指す生徒像（目標）を設定
2. 既存の学校教育目標との関係を整理
3. 目指す生徒像（目標）を受けて、基礎的・汎用的能力の4領域に目標を細分化（課題対応能力に重点）
4. 各教科や行事等の関係を整理

**[作成のポイント]**

- ・ 目標を「見える化」する
- ・ 目標の関係を整理する
- ・ 目標を共有する



### 3・年間指導計画の見直し

明和町立明和中学校  
教科別キャリア教育年間指導計画(第1学年)

1 目標:人に優しく、自信をもって、よく考えて行動しよう

2 キャリア教育に関わる基礎的・汎用的能力

①人間関係形成・社会生活能力: 関わりを理解し、自己と他者の違いに気付く、尊重しようとする。②給食の献性を理解する力、③相手に働きかける力・コミュニケーションスキル、④チームワーク・リーダーシップ  
⑤自己理解・自己表現能力: 中学先としての自己や社会生活の一員としての自覚をもたせる。⑥自分の役割の理解・動機付け、⑦前向きに考える力・主体的行動、⑧忍耐力・ストレスマネジメント  
⑨情報処理能力: 情報の活用を身に送り、次の機会に生かそうとすることができる。⑩情報の検索・選択・取捨、⑪本質の理解・追加の追加・整理整頓、⑫計画立案・実行力・計画・評価、⑬業  
⑭キャリアプランニング能力: 夢や志望について語り、働くことの意味を考える、進路を考える態度で行ける。⑮学ぶこと、働くことの意味や役割の理解、多角的な理解、方向感設計、選択、⑯行動・改善

3 大きな基礎的・汎用的能力に関わる領域

領域	4-5	6-7	8-9
体験	朝入生歓迎会、初年度紹介	朝来生大会実行会	下宿体験 体育祭 生徒会立ち上げ説明、本朝役員選挙
学習	学習計画書作り(A2、B2) 目標の一貫して自覚をもち、努力することの大切さを確認させる。 朝来生大会に向けて(自己) 仲間意識を醸成し、主体的・積極的に参加させる態度を養う。	自分を尊重し「自己」 人とは異なる個性があり、個性と職業の密接な関係があることを理解し、自分の特性を知 るための観点や方法を学ぶ。	自分の得意な領域の学習(D2) 経験学習の内容を必要に応じて実践させ、授業のなかや体験の場面に主体的・積極的に参 与しようとする態度を養う。
課題	職場の行状について(自己) 誇ましい学校生活を身に付けておくことの大切さを自覚し、自らを磨き、生活を正そうとす る態度を養う。 午前・午後十分(自己、他者) 自分の長や得意を認識し、勉強を通して生きがいのある人生を実現しようとする実践意 識を養う。	バス上乗車(自己、他者) 自分が5人への配慮と思いやりをもつ気持ちよい社会をつくらうとする実践意 識を養う。 自分の持つ長や短や努力を思い、いとおしみ、おかげの多い社会を尊重する態度を養成 する。	授業の中や授業外(自己、他者) 得意な領域に打ち込むこと、得意と興味をもって目標を達成しようとする実践意 識を養う。 人に感謝をしなければいけないのか (自己、他者、自己) 自分の得意な領域を伸ばすことで、自分の個性を磨くこと、よりよい社会をつくらうとす る態度を養う。
教科	【国】 生活はつながり(A2、A3) 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【道徳】 絆(自己) 【理科】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【社会】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【英語】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。	【国】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【道徳】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【理科】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【社会】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【英語】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。	【国】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【道徳】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【理科】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【社会】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【英語】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。
学習	【国】 生活はつながり(A2、A3) 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【道徳】 絆(自己) 【理科】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【社会】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【英語】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。	【国】 生活はつながり(A2、A3) 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【道徳】 絆(自己) 【理科】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【社会】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【英語】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。	【国】 生活はつながり(A2、A3) 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【道徳】 絆(自己) 【理科】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【社会】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。 【英語】 絆の大切さを理解し、互いに助け合えることを意識させる。

1. 教科ごとに年計を確認し、基礎的・汎用的能力に単元を整理
2. 教科ごとに洗い出した情報を一覧に整理
3. 目指す生徒像に関わる領域を重点化

1. 教科ごとに年計を確認し、基礎的・汎用的能力に単元を整理
2. 教科ごとに洗い出した情報を一覧に整理
3. 目指す生徒像に関わる領域を重点化

明和町立明和中学校  
教科別キャリア教育年計画指導計画(第1学年)

1 目標: 人に優しく、自信をもって、よく考えようとする。

2 キャリア教育に関わる基礎的・汎用的能力  
 ①人間関係形成・社会参加能力: 関わりを深め、自己と他者の違いに気づき、尊重しようとする。②給食の献性を理解する力。③他者に働きかける力・コミュニケーションスキル。④チームワーク・リーダーシップ  
 ⑤自己理解・自己管理能力: 中学をとりこむ自己や社会参加の一員としての自覚をもたせる。⑥自分の役割の理解・動機付け。⑦前向きに考える力・主体的行動。⑧忍耐力・ストレスマネジメント  
 ⑨権利の責任力: 守るの姿勢を持ち送り、次の機会に生かそうとすることができる。⑩情報の理解・選択・活用。⑪本質の理解・判断の適宜。⑫計画立案・実行力・評価・改善  
 ⑬キャリアプランニング能力: 身近な職業について知り、働くことの意義を学ぶ。⑭働くこと、働くことの意義や役割の理解。⑮職業的知識、活用設計、選択。⑯行動・改善

教科	4-5	6-7	8-9
体育	新人歓迎会、体育祭紹介	新学年大会体育会	下町も運動
音楽	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭
美術	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭
英語	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭
社会	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭
理科	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭
国語	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭
総合	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭
道徳	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭
保健体育	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭
キャリア教育	新学年校歌、新学年校歌	新学年大会行進	体育祭

第1学年 ①

**[作成のポイント]**

- 他教科とのつながりが見える  
→ 学年毎にまとめる
- 特に関わりの強い単元のみ表記する
- 実施時期が把握できる

DO (実践)  
[ 二年目 ]

- 1 ・ 教科における  
課題対応能力を明らかにする

# 教科における課題対応能力を明らかにする

例・英語科

表現したいことを英文で表すために、モデル文や教科書を参考にしたり、辞書等を活用したりできる力

→ 情報の収集・選択・処理

**[作成のポイント]**

英語科の既存の目標を、キャリア教育の視点で捉え直す

2・課題対応能力を身に付けさせる手立て

# 課題対応能力を身に付けさせる手立てを立てる

## 例・英語科

表現したいことを英文で表すために、モデル文や教科書を参考にしたり、辞書等を活用したりできる力（情報の収集・選択・処理）

→【手立て】

モデル文や辞書の活用を必要とする場面設定がされた英文づくりを行う活動を取り入れる



### 3・手立てを取り入れた授業

# 手立てを取り入れた授業



# 授業を振り返る



C H E C K (評価)  
[ 三年目 ]

# キャリア教育の評価

生徒の成長の見取り

学校の取組の点検

# 1 ・ 生徒の成長の見取り

# 教科における課題対応能力の見取り方を立てる

## 例・英語科

表現したいことを英文で表すために、モデル文や教科書を参考にしたり、辞書等を活用したりできる力（情報の収集・選択・処理）

→【手立て】

モデル文や辞書の活用を必要とする場面設定がされた英文づくりを行う活動を取り入れる

# 教科における課題対応能力の見取り方を立てる

例・英語科

表現したいことを英文で表すために、モデル文や教科書を参考にしたり、辞書等を活用したりできるか（**情報収集**、**選択**、**処理**）

→【手

モ  
行

→【見

ノートを振り返って既習のモデル文、教科書や辞書を  
活用している姿、教師やALTに  
を観察より見取る

教科の評価＝キャリアの評価

||  
情報

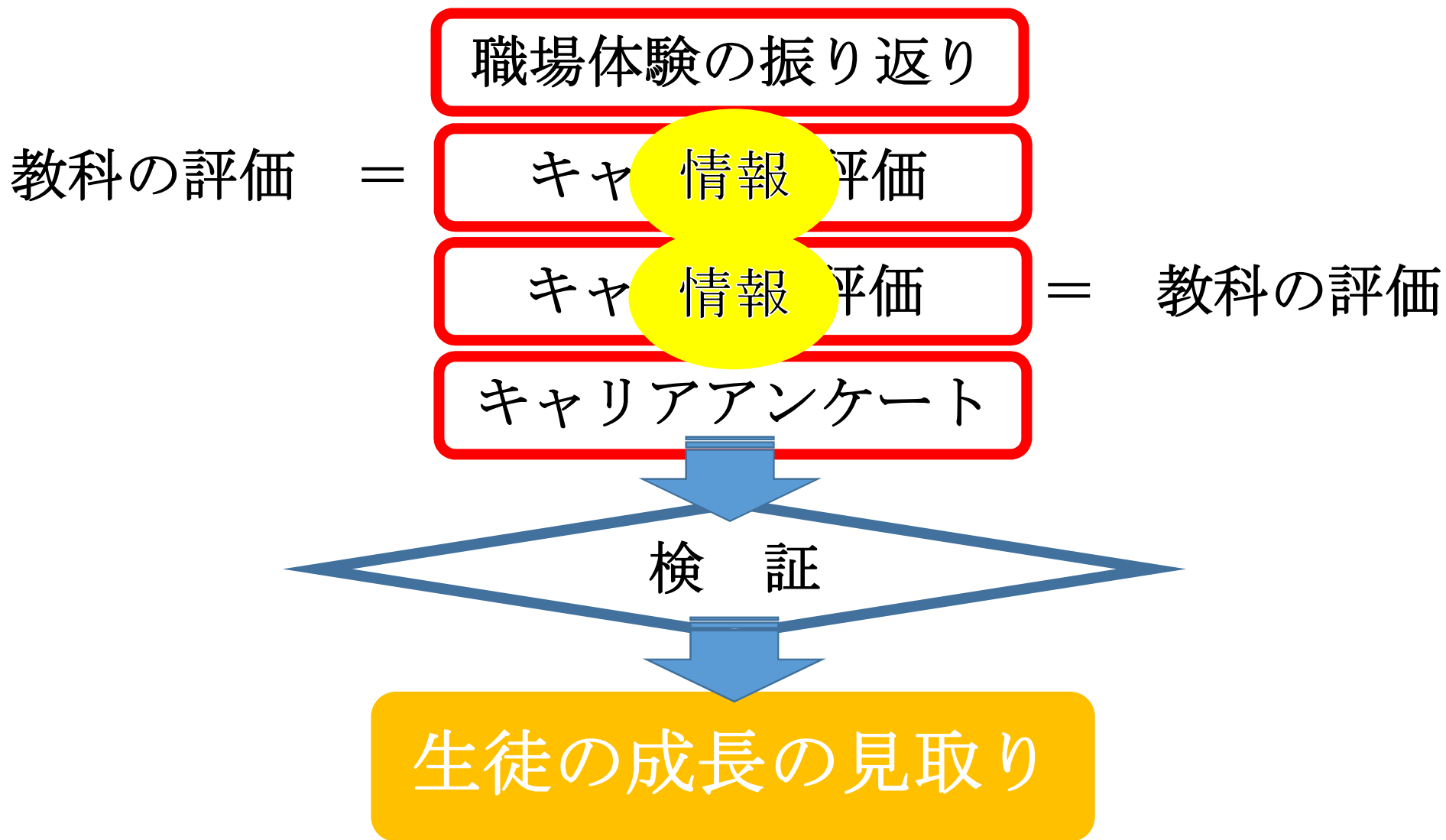


# キャリア教育の評価

生徒の成長の見取り

学校の取組の点検

## 2・学校の取組の点検



職場体験の振り返り

教科の評

**ACTION(改善)へ**

教科の評価

キャリアアンケート

学校の取組の点検

検証

生徒の成長の見取り

# 職場体験学習の改善

事前・事後指導を見直す

事前指導

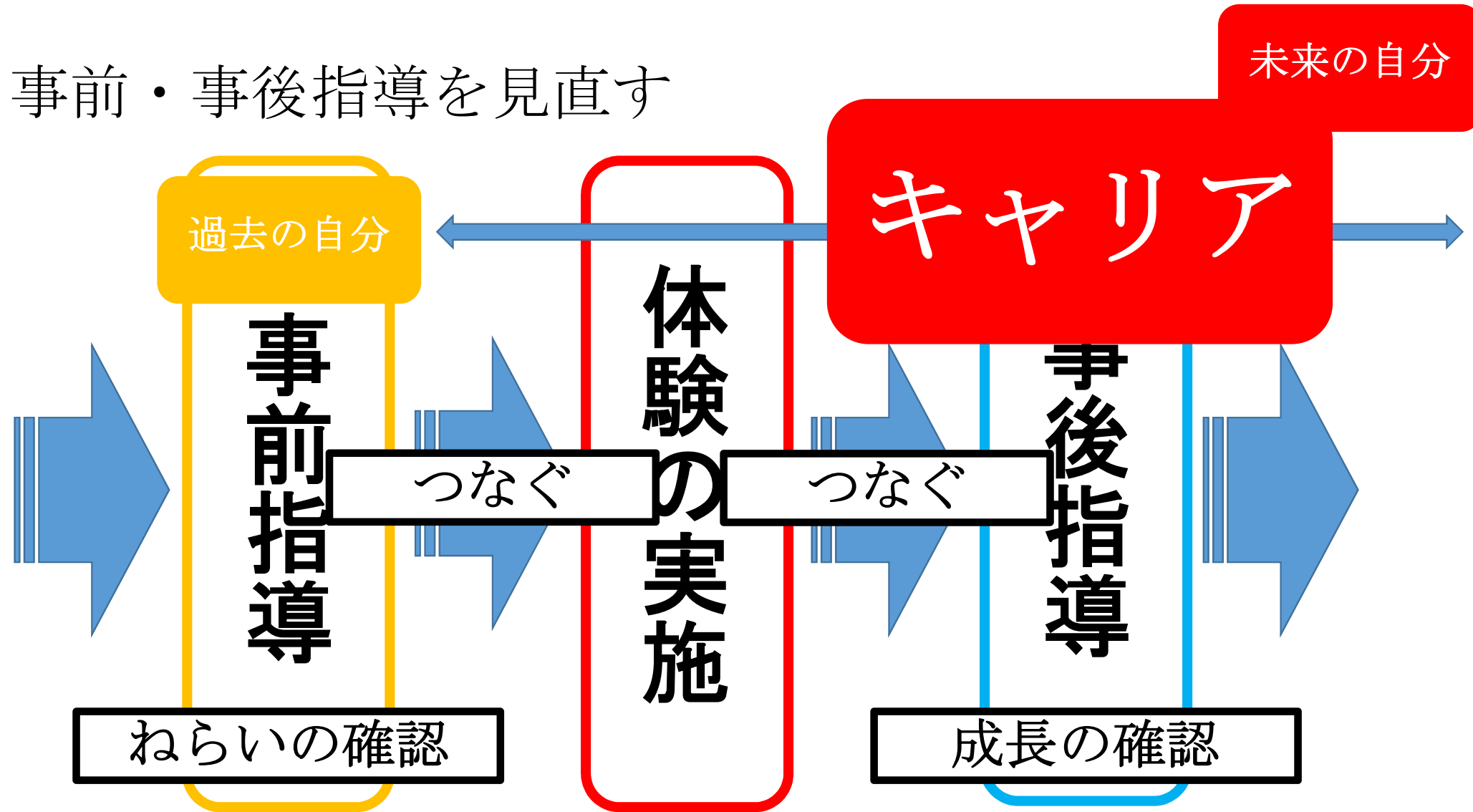
ねらいの確認

体験の実施

事後指導

成長の確認

事前・事後指導を見直す



【職場体験学習・事前】

# Planシート

年 組 氏名

【職場体験学習・学年目標】

- ・自分の仕事を見つけ、分からないことは質問して、協力して活動しよう。 [コミュニケーションの力]
- ・苦手なことや自信のないことにも、進んで取り組もう。 [進んで行動する力・忍耐力]
- ・見通しをもったり、よりよい方法を考えたりしながら活動しよう。 [よりよく問題を解決する力]
- ・「働く」とはどんなことか、大切なことは何か考えよう。 [自分に将来について考える力]

【職場体験学習・個人目標】 学年目標を参考に、自分の目標を1つ立てましょう！

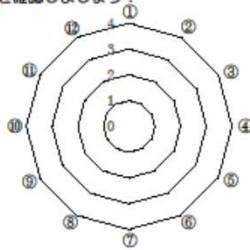
目 標

観察のポイント

どんなところを見たいか・知りたいか

○自分の今を確認しましょう！

キャリア  
アンケート  
まとめ



- ・①+②+③= 点 【コミュニケーションの力】
- ・④+⑤+⑥= 点 【進んで行動する力・忍耐力】
- ・⑦+⑧+⑨= 点 【よりよく問題を解決する力】
- ・⑩+⑪+⑫= 点 【自分に将来について考える力】

仕事や働くということへの今のイメージ

という仕事から連想すること



【職場体験学習・事後】

# Checkシート

年 組 氏名

【職場体験学習・個人目標 自己評価】

個人目標の達成度 できた 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 できなかった

どうして、この評価にしたかという・・・

○職場体験を終えた、自分の今を自己評価しましょう！



仕事や働くということへの今のイメージ

という仕事について、今、思うこと

感想



【職場体験学習・事前】

# Planシート

年 組 氏名

【職場体験学習・学年目標】

- ・自分の仕事を見つけ、分からないことは質問して、協力して活動しよう。 [コミュニケーションの力]
- ・苦手なことや自信のないことにも、進んで取り組もう。 [進んで行動する力・忍耐力]
- ・見通しをもったり、よりよい方法を考えたりしながら活動しよう。 [よりよく問題を解決する力]
- ・「働く」とはどんなことか、大切なことは何か考えよう。 [自分に将来について考える力]

【職場体験学習・個人目標】 学年目標を参考に、自分の目標を1つ立てましょう！

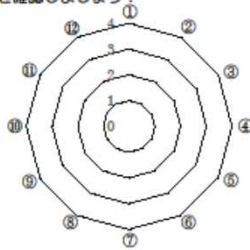
目 標

観察のポイント

どんなところを見たいか・知りたいか

○自分の今を確認しましょう！

キャリア  
アンケート  
まとめ



- ・①+②+③= 点 [コミュニケーションの力]
- ・④+⑤+⑥= 点 [進んで行動する力・忍耐力]
- ・⑦+⑧+⑨= 点 [よりよく問題を解決する力]
- ・⑩+⑪+⑫= 点 [自分に将来について考える力]

仕事や働くということへの今のイメージ

という仕事から連想すること



【職場体験学習・事後】

# Checkシート

年 組 氏名

【職場体験学習・個人目標 自己評価】

個人目標の達成度 できた 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 できなかった

どうして、この評価にしたかという・・・

○職場体験を終えた、自分の今を自己評価しましょう！



仕事や働くということへの今のイメージ

という仕事について、今、思うこと

感 想

【職場体験学習・事前】

# Planシート

年 組 氏名

【職場体験学習・学年目標】

- ・自分の仕事を見つけ、分からないことは質問して、協力して活動しよう。 [コミュニケーションの力]
- ・苦手なことや自信のないことにも、進んで取り組もう。 [進んで行動する力・忍耐力]
- ・見通しをもったり、よりよい方法を考えたりしながら活動しよう。 [よりよく問題を解決する力]
- ・「働く」とはどんなことか、大切なことは何か考えよう。 [自分に将来について考える力]

【職場体験学習・個人目標】 学年目標を参考に、自分の目標を1つ立てましょう！

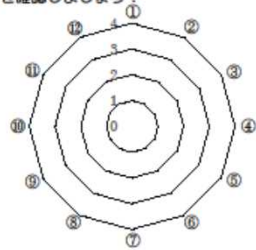
目 標

観察のポイント

どんなところを覗いたか・知りたかったこと

○自分の今を確認しましょう！

キャリア  
アンケート  
まとめ



- ・①+③= 点 [コミュニケーションの力]
- ・④+⑥= 点 [進んで行動する力・忍耐力]
- ・⑦+⑨= 点 [よりよく問題を解決する力]
- ・⑩+⑫= 点 [自分に将来について考える力]

という仕事から連想すること



【職場体験学習・事後】

# Checkシート

年 組 氏名

【職場体験学習・個人目標 自己評価】

個人目標の達成度 できた 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 できなかった

どうして、この評価にしたかというところ・・・

○職場体験を終えた、自分の今を自己評価しましょう！



仕事や働くということへの今の考え

という仕事について、今、思うこと

感想

【職場体験学習・事前】

# Planシート

年 組 氏名

【職場体験学習・学年目標】

- ・自分の仕事を見つけ、分からないことは質問して、協力して活動しよう。 [コミュニケーションの力]
- ・苦手なことや自信のないことにも、進んで取り組もう。 [進んで行動する力・忍耐力]
- ・見通しをもったり、よりよい方法を考えたりしながら活動しよう。 [よりよく問題を解決する力]
- ・「働く」とはどんなことか、大切なことは何か考えよう。 [自分に将来について考える力]

【職場体験学習・個人目標】 学年目標を参考に、自分の目標を1つ立てましょう！

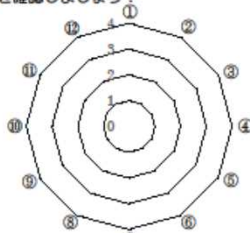
目 標

観察のポイント

どんなところを見たいか・知りたいか

○自分の今を確認しましょう！

キャリア  
アンケート  
まとめ



- ・①+②+③= 点 [コミュニケーションの力]
- ・④+⑤+⑥= 点 [進んで行動する力・忍耐力]
- ・⑦+⑧+⑨= 点 [よりよく問題を解決する力]
- ・⑩+⑪+⑫= 点 [自分に将来について考える力]

仕事や働くということへの今のイメージ

という仕事から連想すること



【職場体験学習・事後】

# Checkシート

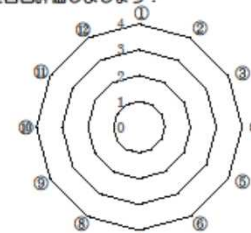
年 組 氏名

【職場体験学習・個人目標 自己評価】

個人目標の達成度 できた 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 できなかった

どうして、この評価にしたかという・・・

○職場体験を終えた、自分の今を自己評価しましょう！



仕事や働くということへの今のイメージ

という仕事について、今、思うこと

感想

# ワークシートから見取る

## 事前

梨農家 という仕事から連想すること

梨の販売が始まると、収穫作業などで急がしそう。  
よい梨を作るのに大変だと思う。



# ワークシートから見取る

## 事後

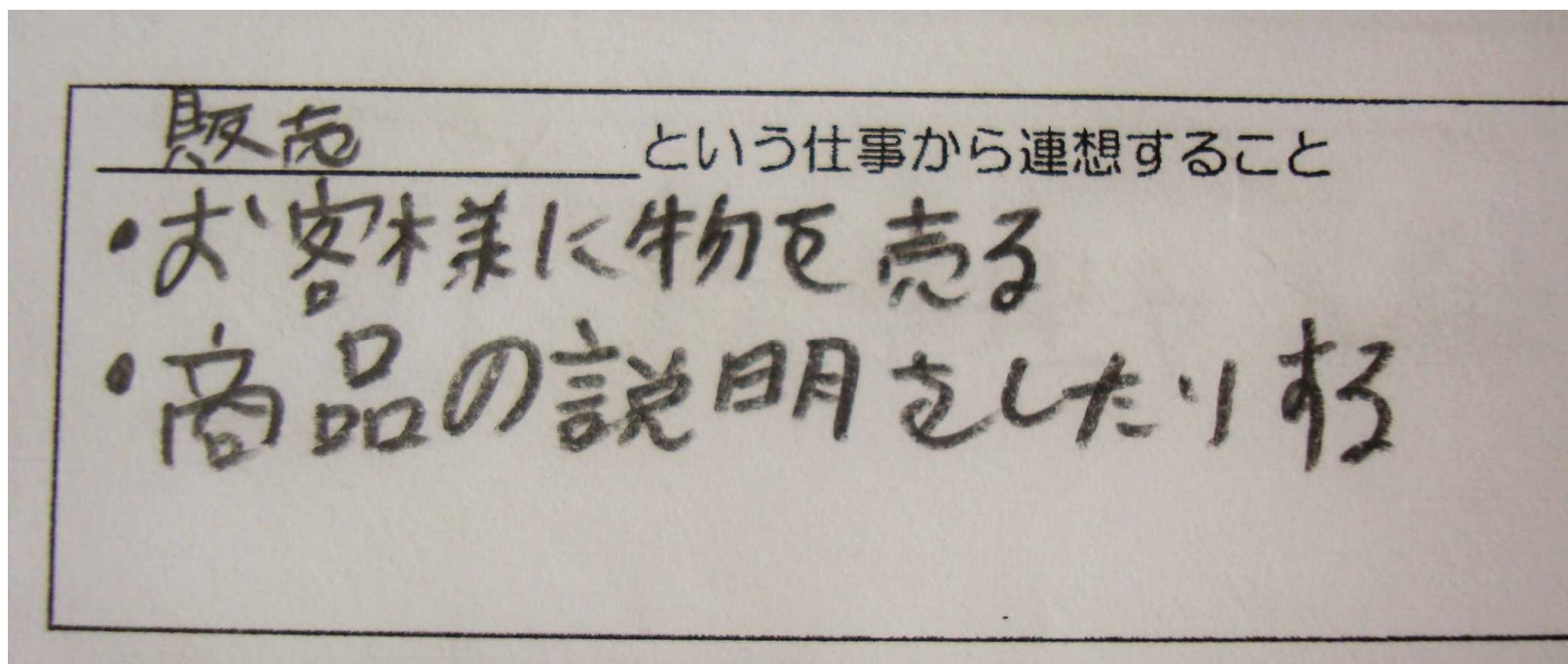
梨農家 という仕事について、今、思うこと

人に喜んでもらうため。

自分の作ったものを売って、いろいろな人の感想が聞ける。

ワークシートから見取る

事前



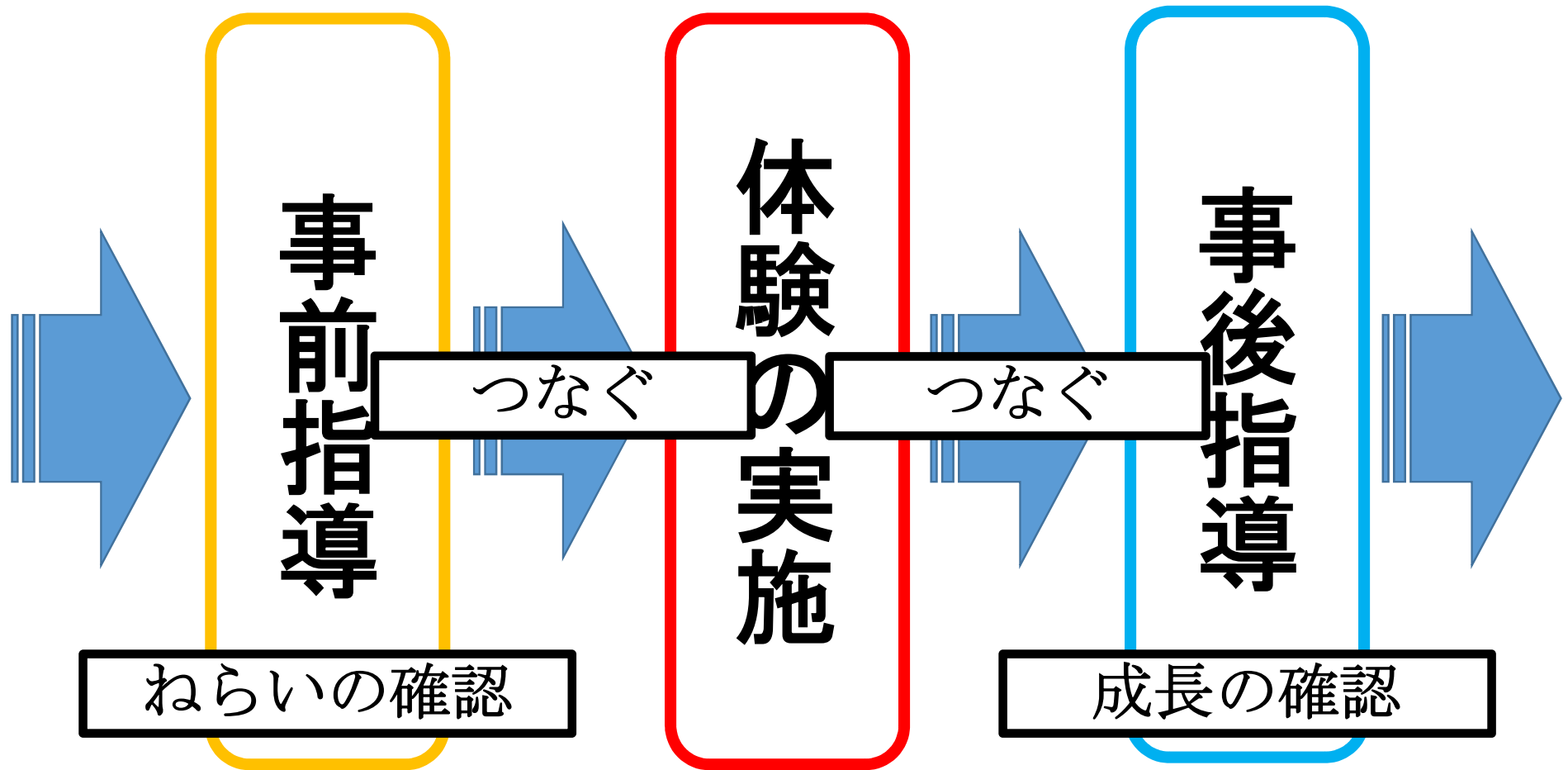
## ワークシートから見取る

### 事後

具販売業 という仕事について、今、思うこと

- たが商品があるのびけなく、まとめて売たりするのを、準備ある裏方の仕事か"とても大切な"と思う。

事前・事後指導を見直す





## 事前・事後指導を見直す

### [POINT]

T1（教師）とT2（事業所）がねらいを共有して教育活動を行うことが効果的な学習活動を生み出す。

打ち合わせ

事業所とねらいの共有

事前指導

ねらいの確認

# 明和中・職場体験学習の改善

## 1 事前・事後指導の見直し

→ 「つながり」と「成長」を実感できる工夫

## 2 ねらいの共有

→ 事業所と一緒に生徒を育てる工夫

成果 と 課題

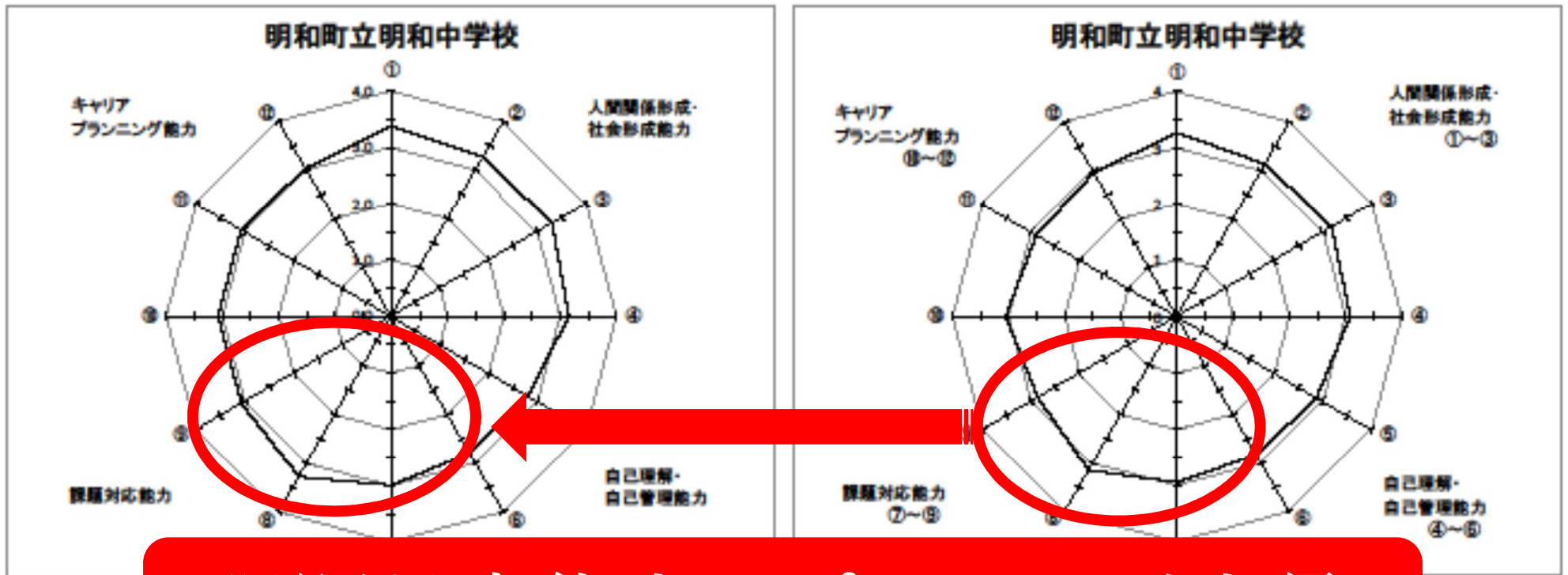
## [ 成 果 ]

- 1 教科指導のみに終わらない「つながり」や「ねらい」を意識した指導へ変化
- 2 行事等を含めた学校の教育活動を捉え直すきっかけを得た

より効果的な指導へ

# [ 成 果 ]

基礎的・汎用的能力の実態(アンケート結果の比較) 平成27年度



課題対応能力のポイントが上昇

## [ 課 題 ]

- 1 **CHECK**（評価）から**ACTION**（改善）につなげる
- 2 小中連携など縦の連携を充実させる
- 3 地域や家庭との連携の模索（横の連携）

**改善と継続**

## [ 成 果 ]

感想 働くことは、自分が思っていた以上にとても大変だといふことをした。親の苦勞がなんとなくだけじゃ分が深くない。もっと職場体験も色々なところでしてみたくなった。そんな感じがする。

## [ 成 果 ]

という仕事について、今、思うこと

思っていたより、かたくるしい感じではなく  
チームとなって協力し合い、患者さんと  
向き合っている。

感想

想像とは少しちがう、院内で一丸と  
なって1人1人に向き合っていて優しい  
雰囲気だった。



## [ 成 果 ]

感想

職場体験をして、最初は、みんなよかったけど、先生方が優しく教えてくれておかげで、みんなは、ほぐれた。保育士とは、子供たちと遊んだりすることだけではなく、先生方はちゃんと子供たちのことを見ていたり子供たちのことを考えて行動してたりしていたので、すごかったです。これからのしょう来も、このことを思いついて、役立てたいです。

## 参考文献

- ・「中学校キャリア教育の手引き」（平成23年3月，文部科学省）
- ・「キャリア教育を創る」（平成23年11月，国立教育政策研究所生徒指導研究センター）
- ・「キャリア教育を『デザイン』する」  
（平成24年8月，国立教育政策研究所生徒指導研究センター）
- ・「データが示す キャリア教育が促す『学習意欲』」  
（平成26年3月，国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター）
- ・「子供たちの『見取り』と教育活動の『点検』」  
（平成27年3月，国立教育政策研究所生徒指導研究センター）
- ・平成27年度キャリア教育指導者養成研修資料  
（平成26年5月，独立行政法人教員研修センター）
- ・平成27年度第1回群馬県キャリア教育推進協議会資料  
「地域と連携したキャリア教育の推進について」  
（平成27年8月，筑波大学 教授 藤田晃之）

## 参考文献

- ・平成26年度群馬県キャリア教育推進協議会資料  
「全体協議・情報交換補足資料」  
(平成26年6月, 筑波大学 教授 藤田晃之)
- ・平成26年度群馬県キャリア教育推進協議会資料  
「義務教育9年間を見通したキャリア教育推進のために」  
(平成26年6月, 筑波大学 教授 藤田晃之)
- ・「学校が社会と協働して一日も早くすべての児童生徒に充実したキャリア教育を行うために」  
(平成23年12月, キャリア教育における外部人材活用等に関する調査協力者会議)
- ・「『中学校キャリア教育』実践の手引き」(岩手県総合教育センター)
- ・「キャリア教育 理論と実践・評価」(平成19年11月, 宮崎冴子)
- ・「キャリア教育の底力」(平成27年, 仙台市立寺岡小学校)
- ・「キャリア教育基礎論ー正しい理解と実践のためにー」(2014年11月, 藤田晃之)
- ・「アクティブ・ラーニングによる『キャリア教育入門』」(平成28年2月, 西川純)

ご清聴ありがとうございました。